

目次

□巻頭言 これからの建設機械の開発能川昭二/1

□社団法人日本建設機械化協会の事業活動
 社団法人日本建設機械化協会定款 / 3
 各部会・専門部会・建設機械化研究所の動き / 5

□昭和62年度官公庁の事業概要(1)~(3)
 建設省関係予算の概要中島義勝/22
 運輸省港湾関係事業片山敏夫/26
 運輸省空港整備事業井上優/30

□随想 都内坂巡り古内子明/34

第三セクター方式鉄道建設の概要高田正治/36
 —鷹角線の工事概要を中心として—

北陸本線金沢駅付近高架化工事の概要青山村彦光/42

グラビヤ——鷹角線 戸島内トンネル工事
 北陸本線金沢駅付近高架化工事

日立大型油圧シヨベル EX 3500 の開発大坪和彦/47
 大田中敏夫

特殊断面シールド(マルチフェイス
 シールド)の姿勢制御実験飯田廣臣/51
 土井博巳

「建設工事に伴う騒音振動対策技術指針」の改正佐藤佳朗/58

建設機械の割賦販売の所有権について
本協会東北支部業種別部会/64

東京石灰工業葛生工場見学記技術部会骨材生産委員会/68

□新工法紹介
 シールド自動測量システム/自重移し替え式調査部会/72
 シールド工法/超高水圧対抗シールド工法

□新機種ニュース調査部会/75

□文献調査
 測量の新技术文献調査委員会/80

□ISO規格紹介
 土工機械に関するISO規格(22)-1ISO部会/81

□整備技術
 新しい診断・再生技術(第4回)整備部会/84
 エンジンの診断機器

□統計
 建設工事受注額・建設機械受注額の推移調査部会/88

行事一覧 /89

編集後記(藤崎・牧)/92

◀表紙写真説明▶

KEMCO・SCHAEFF

KL-31 ケムコ・シャフロータ

製造元:コトブキ技研工業株式会社
 総代理店:三井物産株式会社開発機械部

本機は西ドイツの特殊建機専門メーカ Karl Schaeff 社と技術提携し開発したずり取り機械である。構造は電動機とディーゼルエンジンを搭載しており、バックホウ形式のブームとチェーンコンベヤシステムを組合せ、全油圧方式を採用している。このため、1台で一連した作業が可能であり、能率は従来に比べ2~3倍向上する。また安全性が極めて高く、作業環境の改善ができる。用途は中断面、大断面トンネルでのずり取、掘削作業。土木・砕石での岩石、土砂の回収作業に適している。

その他 KL シリーズには、小断面トンネルに適した KL-15 も販売している。

◀主な仕様▶

全長	11,300 mm
全幅	2,500 mm
全重量	22.0 t
電動機	90 kW
エンジン	128 HP